



岡山市区づくり推進事業助成申込書
(地域活動部門)

平成 28 年 1 月 19 日

岡山市長 大 森 雅 夫 様

フリガナ そうめいがつくれんごうじしゅぼうさいかい
団体名 操明学区連合自主防災会
所在地 [REDACTED]
連絡先 [REDACTED]
フリガナ おだみつお
代表者氏名 小田光雄 [REDACTED]

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり ① 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	操明学区防災フロント（最前線）事業
事業実施区域(小学校区)	岡山市中区 操明小学校区
事業実施回数	継続 ・ 2回目 ・ (27年度から)
課題	1) 各町内会役員6割が更新される年度に当たり、27年度事業グッズで、防災に対する新役員の意識、自助対応力の向上、持続可能な流れの枠組。 2) 学区内14単位自主防災会の避難活動要配慮者対策をより実働・実践型への構築。 3) 若い人の防災意識を知る為、新1年生保護者に防災意識アンケート調査。 4) 要配慮者避難所として小学校、各企業との緻密な連携。 5) 他地域防災組織との非常時無線連絡網。
事業の目的・目標	小地域最前線の町内会の班単位から、防災協助員を発掘し、育て、実働・実践組織に組み込み、地域防災の最前線活動者に仕上げる。 子・孫まで持続可能な14自主防災会の地域防災組織・枠組みを定着させる。 平常時各団体協働での、要配慮者の見守り活動を定着させる。

<p>専 業 の 内 容</p>	<p>1) 人材の発掘と育成＝人材発掘登録、研修、活動資格取得、実践訓練 2) 企画組織＝連合自主防災会、各種団体。企画委員会、推進委員会の充実 3) 執行事項＝災害や事故の定義づけ整理。要配慮者の選択と同意づけ。 要配慮者の27年度名簿作成を基本として毎年2月度更新、 4) 避難活動要配慮者＝円滑支援、研修会、訓練の充実 5) 一次避難所の円滑運営マニュアル作成。防災アンケート。各種団体との協働企画。 災害通報、避難準備、避難、誘導、救出救護各班等の円滑マニュアルの見直し作成。</p>
<p>期 待 さ れ る 成 果</p>	<p>1) 住民の防災への関心の向上と活動参加意欲の醸成 2) 学区内での具体的自主防災活動の充実と実践の定着 3) 学区内での防災協働員の率先活動の向上と定着 4) 要配慮者の平常時見守り、非常時の救護活動の充実。 5) 地域の各種団体とのコミュニケーションの向上</p>
<p>企 画 な ど の 工 夫</p>	<p>1) 全住民をいかに巻き込んでいくのか、 毎年新1年生、新幼稚園児保護者に防災アンケートお願いする 2) 学校・地域にある行政機関、企業等と連携、支援、協働を円滑に進める努力を 各協働団体長がトップリーダーをはたす。 3) 作りだした人材、組織、マニュアル類、施設物品資材等総合的に運用して検証し、 各单位自主防災会で訓練を通して定着・習慣化としたい。</p>
<p>専 業 の 情 報 公 開</p>	<p>1) 連合町内会誌「操明ネットワーク」への掲載（年4回全戸配布） 2) 連合町内会役員総会への報告（年4回） 3) 連合町内会「操明ホームページ」へ掲載（活動記録） 4) その他紹介に対応して情報公開をする。</p>
<p>次 年 度 以 降 の 予 定</p>	<p>① 年度以後の活動計画 本年は単位町内会役員変更の多い年です。5ヶ年計画に基づき単位自主防災会活動が スムーズに推進運営できるようにまいります ②資金の確保について <input type="checkbox"/>次年度も区づくり推進事業を申請する予定 <input type="checkbox"/>4年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。 ○資金確保の具体的な方策： 連合町内会からの活動資金と単位自主防災会からの活動資金</p>
<p>そ の 他 P R し た い 点</p>	<p>1) 27年度、小学校保護者・研修会・防災訓練参加者、約900名のアンケート調査 2) 27年度、各種防災グッズ購入で防災役員意識醸成大幅に向上。 3) 毎年新役員、新小学生保護者、学区内新移住者等に防災アンケート調査。 4) 無線機については、他地域の所有者と連携を取り情報網の整備をしたい。</p>

収 支 予 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	前年度決算	予 算	備 考
岡山市補助金	1,131,000	86,000	(100円未満の端数切捨て)
実施団体負担金		86,000	
参加者負担金			
協賛金			
寄付、他収入	283,000		
計	1,414,000	172,000	

◆ 支 出

単位:円

項 目	前年度決算	予 算	備 考
消耗品費	125,000	10,000	郵送用封筒、コピー用紙
食糧費・会場費	35,000	5,000	飲料代、会議室使用料
印刷製本費	255,000	15,000	名簿及びマニュアル作成費
通信運搬費	10,000		
手数料(リース料)	129,000	142,000	トランシーバー
原材料費	40,000		
消耗品費	820,000		
計	1,414,000	172,000	

◆ 概算交付の要否(いずれかに○をしてください)。(補助金額が20万円を超える場合のみ)

補助金の概算払いを	希望する	希望しない
-----------	------	-------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください

注①：前年度決算額が確定していない場合は、見込み額を記入してください。

注②：支出の費目は、消耗品費・食糧費・印刷製本費・旅費交通費・通信運搬費・謝礼金・会場使用料・保険料など適当な費目に分けて記入し、備考に積算内訳を記載してください。

※記入欄に書ききれないときは、別紙として添付してください。

事業スケジュール (企画会議や反省会も含めてご記入ください。日程が未定の場合は月だけで結構です。)

月日	活動内容
4月	8日 学区桜祭り。 30日 連合自主防災会27年度役員総会(区づくり事業含む) 12月まで、毎月第四日曜日、8時～防災倉庫草刈り。 学区連合町内会役員総会
5月	区づくり事業企画会議。新一年生保護者に防災アンケート調査。 学区連合自主防災会、役員変更及び研修会議。新役員変更届作成提出。 小学校運動会
6月	学区連合自主防災会会議。 旭川源流の碑、受入、送り。
7月	新役員研修会。防災アンケート調査。無線機使用訓練。 企画会議。 研修会反省会。
8月	アンケート分析
9月	企画会議。 連合役員会議。
10月	学区連合自主防災会会議。 10日 学区敬老会。
11月	3日 学区防災訓練。防災アンケート調査。無線機使用訓練。反省会。 企画会議。
12月	4日 学区クリーン作戦。 28年度事業反省会。新年度事業計画案会議
1月	防災倉庫備品棚卸。
2月	要配慮者名簿の更新。 学区連合自主防災会議、29年度事業計画。 連合町内会三役会議、各種行事との打合せ。 企画会議
3月	区づくり事業、防災会総会資料の作成。 学区連合自主防災会、区づくり事業監査。